

のんびり、悠々自適な田舎暮らしをしてみたい。
くれるのが「いばらき さとやま生活」。

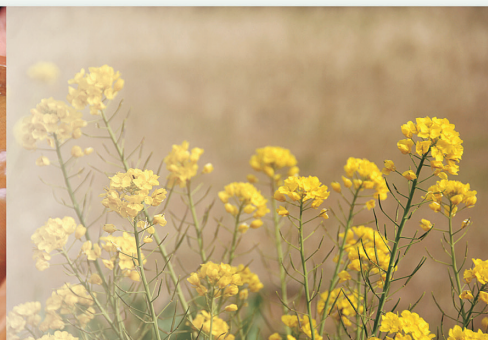
「生活体験ツアー」や、「おためし田舎暮らし体験」が注目されています。



小松寺



すず絵体験



魅力的なライフスタイル 「いばらき さとやま生活」

県北地域は、身近な里山、久慈川・那珂川などの清流、滝、変化に富んだ海岸線、温泉、渓谷などの豊かな自然や歴史・文化など魅力がたくさんあります。都会に暮らす方々が、こんな県北地域で、そこに住む人々と気軽に触れ合いながら、思い思いにスローライフを
楽しむ悠々自適なライフスタイル。それが、「いばらき さとやま生活」です。



春のグリーン・ツーリズム 体験ツアー

「いばらき さとやま生活」を体験する「小松寺の浮彫如意輪観音像特別公開と西ノ内和紙すき絵体験」の旅が、四月六日(金)に開催されました。参加者は、貸し切りバスで城里町の小松寺、桂雛ギャラリーを見学後、春の山菜料理の昼食を味わい、西ノ内和紙のすき絵体験を楽しみました。小松寺は、天平一七年(七四五)に行基菩薩が開山した由緒ある寺です。浮彫如意輪観音像が国重要文化財に指定されており、この観音像を今

おためし田舎暮らし体験

近年、都会に暮らす方の中に、田舎暮らしを希望される方が増えています。

いきなり田舎に移り住むのはためらいがある。そんな思いの方が、まずは短期間で田舎暮らしを体験できるのが、(財)グリーンふるさと振興機構が行っている「おためし田舎暮らし体験」です。

大子町にある3LDKの古民家「小林邸」で、一カ月から三カ月間、実際に住んでもらおうというもので、平成十八年十二月に始まり、すでに四組のご家族が田舎暮らしを体験しています。囲炉裏が設けられた板の間、土間、縁側のある古民家は、生活しやすいように水回りをリフォームしてあります。さらにインターネット回線も完備し、布団と、衣類など身の回りの品などを持ち込めば生活ができます。

同機構の佐藤英雄さんは「まずは生活をしてみて、田舎暮らしを体験してほしいです。移り住むとなると、いくらあこがれの田舎暮らしでも現実との間に食い違いが出て来ますから。皆さん、畑仕事や温泉巡りをしたり、地元の特産品を探したりと、目的を持って楽しんでいきます」と話していました。

体験の際には、田舎暮らしサ

滞在できる空き屋募集

日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、城里町および大子町において「いばらきさとやま生活」の魅力アップのための空き家情報を募集しています！

今後開設する、空き家情報バンクに掲載し、田舎暮らしを希望する都市住民の方に対して積極的に情報発信していく予定です。お気軽にお問い合わせください。(契約は相対による締結となります)



「いばらきさとやま生活」について

☎(財)グリーンふるさと振興機構
02694(72)22000
http://www.greenful.jp/
kouyu2/bank.html

県地域計画課

☎0266(301)22210
0266(301)22209
http://www.satoyama-life.pref.ibaraki.jp

“いばらき さとやま生活”

都会を離れ、ゆったり、
そんな思いをかなえて
春の「いばらきさとやま



すき絵体験

桂雛ギャラリー

回、特別公開で見学することができました。

桂雛ギャラリーでは、県郷土工芸品指定の桂の雛人形「桂雛」や、五月人形などの展示を見学。平安時代の宮中の十二単を再現したという雛人形の美しさを堪能しました。

お楽しみの昼食は、県北の名物、鮎の塩焼きとこんにやくの刺身、フキノトウ・モチクサなど地元でとれた山菜の天ぷらなどを味わいました。

そして体験のメインイベント、国の無形文化財に指定されている西ノ内和紙でのすき絵体験です。すき絵は、和紙をすいた上に和紙で絵を描くもので、あたたかみのある素朴な仕上がりが魅力です。作り方の指導を受けた後に、全員でチャレンジ。当日見た桜が満開の春の山々や、さとやまの花の絵など思い思いの作品が仕上がりました。

参加者の皆さんからは「今日は県北の魅力を再発見できました。凛としたお寺、素晴らしい人形をつくる方などに会えて良かったです」、「県南に住んでいますが、茨城は広いなど実感できる旅でした。また県北を歩いてみたいと思います」という声が聞きました。まずは県北に来て、見て、楽しんでいただく、それが「いばらきさとやま体験ツアー」です。この夏と秋にも体験ツアーを企画していますので、どうぞご期待ください。



まずは、田舎暮らしを体験してください。(小林邸)

ポーターの方が、簡単な農作業の指導や生活面の助言を行います。今後、移り住んでみたいという方のために、先輩定住者によるアドバイザー制度も導入していくということです。

田舎暮らし相談窓口には、東京をはじめ首都圏在住の方からの問い合わせが増加しています。同機構では、空き屋根情報バンクの開設やグリーンふるさと圏内にさらにおためし田舎暮らし用住宅を整備するなど、「いばらきさとやま生活」への要望に対応していく計画です。

県水産振興課
TEL 029(301)4119
FAX 4129

このほか、地元民俗芸能伝習などによる交流体験も実施されますので、皆さん、ぜひお出掛けください。

本県の漁業・漁村文化などの紹介、国選無形民俗文化財「常陸大津の御船祭」の神船、県指定無形民俗文化財「天津の盆船流し」などの展示のほか、漁業体験実習や魚料理教室なども開催される予定です。



北茨城市漁業歴史資料館
(愛称「よう・そろー」オープン)

「いばらきさとやま生活」は、海でも楽しめます。漁村に滞在して、漁業体験やその地域の自然や文化に触れ、地元の人々との交流を楽しみむ余暇活動、ブルーツーリズムの拠点の一つとして、大津漁港内に北茨城市漁業歴史資料館(愛称「よう・そろー」)が、五月一日(火)にオープンします。